

「奥多摩紀行」 塚越としを

奥多摩に紅葉まんだら曼荼羅紀行かな

落葉道いのちバウンドしてをりぬ

妙音みょうおんよ紅葉もみづる崖を滝しぶく

滝壺や蛇穴に入る気配あり

紅葉もみづれる木々の遅速や御岳溪みたけたに

鏤ちりばめる砂礫されきの白し秋の沢

隧道ずいどうに日のぽつかりと櫛はぜ紅葉

木守柿きもりがき小河内ダムおごうちの鳥にかな

水鏡すいきようや色しき即是空・黄葉紅葉きよく

柳沢峠富士冠雪を仰ぎけり

- ◆奥多摩紀行：紅葉の大自然を求め、檜原村の弘沢（ほっさわ）の滝を経て、御岳溪谷・氷川溪谷から奥多摩湖（小河内ダム）を巡り、青梅街道（国道四一―号線）を甲州市へと抜けた。
- ◆弘沢の滝：落差約六十メートルの四段の滝。名の由来は、滝の流れ落ちるさまが僧侶の弘子（ほつす）が垂れたように見えることによる。滝壺には大蛇が棲むという伝説もある。
- ◆溪谷の美：JR青梅線の軍畑（いくさばた）から御嶽・奥多摩駅に至る多摩川上流の景勝地。
- ◆小河内ダム：東京都の水源、貯水池が奥多摩湖である。紅葉が水面に映る景は見事である。
- ◆柳沢峠：青梅街道の最高地点（標高一四七二メートル）、富士山眺望の絶景スポットである。

平成二十七年十一月